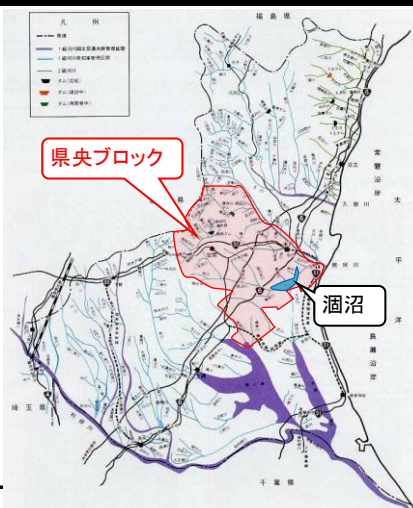


四月二十六日号から、県内を五ブロック（県北・県央・県南・県西・鹿行）に分けて一ブロックずつ代表的な地震による被災箇所を紹介した状況を紹介します。

今回は県央ブロックの主な被災箇所として、特に大きな被災があった酒沼を紹介いたします。

酒沼の周辺は、明治時代から農地として干拓されたところでもあり、広域にわたり、堤防の基礎地盤の液状化による堤防天端の沈下や、側方流動による堤体の亀裂などの被害が発生しました。本復旧工事では、コスト縮減や環境配慮に努めるとともに、必要となった多量の材料の確保については地元業者の多大な協力により、工事を完了させることができました。

なお、七月十五日には、羽田雄一郎国土交通大臣が現地に来られ視察されました。

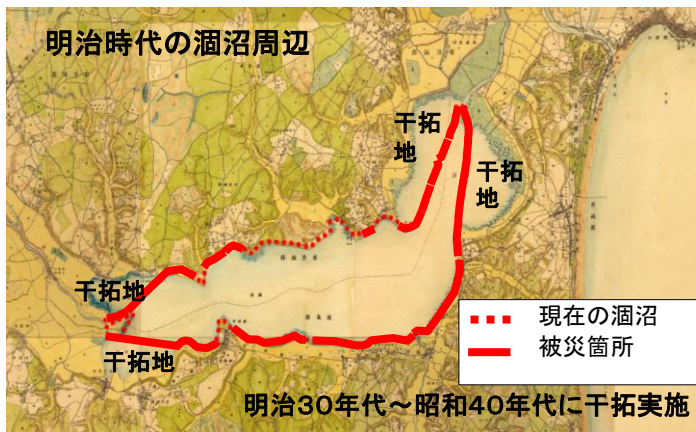


位置図

湖岸22kmのうち被災延長L=14.6km 被害額31億円



明治時代の酒沼周辺



◎酒沼堤防の被災状況

【復旧完了箇所】



被災状況写真



堤防天端の沈下



堤体の亀裂

干拓地である大洗町神山町では、右の写真に示すような被災を受けました。次ページに被災箇所の震災直後から復旧工事完了までの状況を写真と模式図で示します。

羽田国交大臣視察写真

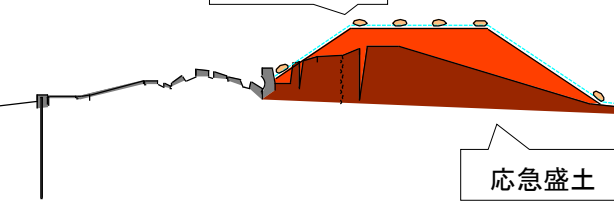


## 2. 応急復旧工事完了 (H23.5)



シート張り

応急盛土



## 1. 震災直後 (H23.3)

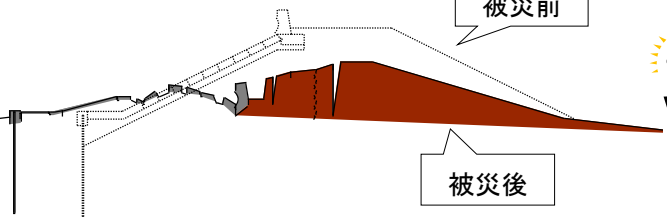


堤防が沈下

護岸の崩壊

被災前

被災後



非出水期に緊急堤防決壊対策を実施

◎ 酒沼堤防の復旧（大洗町神山町）

【復旧完了箇所】



## 4. 復旧工事完了 (H24.7)

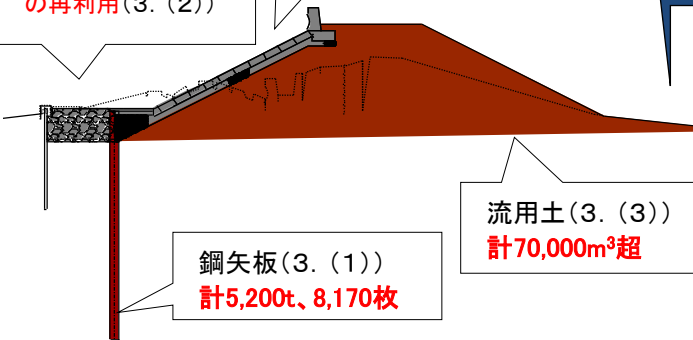


張りブロック(3.(4))  
計67,000m<sup>2</sup>

被災したブロック  
の再利用(3.(2))

流用土(3.(3))  
計70,000m<sup>3</sup>超

鋼矢板(3.(1))  
計5,200t、8,170枚



工事期間(7ヶ月)

## 3. 復旧工事 (H23.12~H24.6)

### (1) 鋼矢板打込み



### (2) 捨石投入



### (3) 堤防切返し



### (4) 張りブロック



出水期は応急復旧の状態です。非出水期に復旧工事着手

【河川かわら版】

発行 茨城県土木部河川課

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

TEL 029-301-4485

HPアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/doboku/01class/class06/>



茨城県